

生活機能の強化

【ア. 医療】

(ア) 地域医療の連携

○取組の内容

圏域の中核的病院である赤穂市民病院を中心として、圏域内の公立病院等が連携を図り、医療体制の確保、充実に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 医療関係者等を対象とした研修を赤穂市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を赤穂市と連携して運営する。	(a) 医療関係者等を対象とした研修を備前市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を設置し、運営する。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 医療関係者等を対象とした研修を上郡町と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を上郡町と連携して運営する。	(a) 医療関係者等を対象とした研修を備前市及び赤穂市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を備前市及び赤穂市と連携して運営する。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	京都大学等から大学教授を招へいし、4公立病院（赤穂市民病院、備前病院、日生病院、吉永病院）の医師、看護師ほか医療技術者を対象に、先端医療の現状等について講演、指導等を仰ぐ連携研究会事業を行う。					
効果	公立病院の医師、看護師ほか医療技術職員の資質向上を図るとともに、医療関係者の相互理解を深め、今後の病院間連携・協力体制を構築する基礎とする。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	341	341	766	331	760	2,539
平成25年度事業の内容						
【今後の予定等】 ●病院及び介護施設の関係者を対象にした集合研修を予定 講演者： 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 濱田康弘 特任教授 内容： 未定 ところ： 赤穂市民病院 講義室 と き： 12月18日（水） 午後6時から						

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	医療連携研究会事業で講演、指導を受けた内容や圏域内において課題となる共通事業について、研究・発表等により情報を共有し、連携を深める。また、住民、行政そして医療関係者も含めて危機的な状況にある地域医療の現状と課題について、専門家の講演を行う。					
効果	圏域内において医療情報を共有化し、圏域全体の医療サービスの向上を図るとともに、医療関係者の相互理解を深め、今後の病院間連携・協力体制を構築する基礎とする。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	55	47	502	47	500	1,151
平成25年度事業の内容						
【今後の予定等】 「医療連携研究会事業」を受け、今後開催を検討する。						

事業名	圏域住民診療支援事業				関係市町	
					赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	備前市民及び上郡町民が圏域の中核病院である赤穂市民病院で出産した場合の助産料について、赤穂市民が負担する額と同額とする。					
効果	備前市及び上郡町では出産できる施設がないため、赤穂市民病院を含め市町外の施設での出産をせざるを得ない状況となっている。さらに、赤穂市民病院において、赤穂市民と市外の人々の助産料に格差があるため、圏域外の施設での出産を望む人が多い。このため、圏域内住民の助産料を同一とし、妊婦の負担を軽減することにより、安心して生み育てることができる環境づくり及び圏域の活性化に寄与する。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	1,480	1,500	2,980
平成25年度事業の内容						
上半期（4月～9月）の実施状況						
備前市	9件	342,000円				
上郡町	5件	216,000円				
計	14件	558,000円				

【イ. 教育】

(ア) 生涯学習の推進

○取組の内容

圏域における生涯学習の機会拡大、文化・スポーツの振興、健康増進等を図るため、教育施設等の相互利用、文化・スポーツ等に関する情報の交換及び人材の交流等、文化・スポーツの交流等を推進する。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市と連携して、備前焼、世界遺産を目指す旧閑谷学校等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。	備前市と連携して、忠臣蔵、塩等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町と連携して、備前焼、世界遺産を目指す旧閑谷学校等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。	備前市と連携して、古代山陽道や赤松氏等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	行政と民間で実行委員会を設立し、参加者を募集して備前陶器窯跡、赤穂城跡、上郡町郷土資料館等3市町の指定文化財・文化施設等をバスで巡るツアーを実施する。					
効果	住民と行政の協働による実行委員会を設立して人的交流の裾野を広げるとともに、3市町の指定文化財・文化施設等を巡るツアーを実施して、各市町文化の相互理解を深める。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	486	490	460	428	430	2,294
平成25年度事業の内容						
実施日 実施時間 参加人数 交流場所 情報交換会	}					
	未定					

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町の公立図書館及び関西福祉大学図書館の相互利用を促進するため、相互に利用案内を作成・設置するとともに、共通のポスター、チラシを作成する。					
効果	公立図書館及び関西福祉大学附属図書館の利用にかかる利便性を向上し、住民サービスの向上を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	853	—	—	—	—	853
平成25年度事業の内容						
- 平成23年4月より備前市、赤穂市、上郡町、関西福祉大学の各図書館（図書室）の相互利用を開始 - 利用案内ポスター・チラシ配布 - 各図書館登録状況（平成25年9月末現在）						
赤穂市から 備前市 13人 上郡町 51人 関福大 127人 備前市から 赤穂市 314人 上郡町 5人 関福大 20人 上郡町から 赤穂市 199人 備前市 3人 関福大 12人						

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	文化事業やスポーツ大会等の開催情報を圏域全体に発信し、関係市町で実施する大会等に圏域住民のオープン参加を追加するなど、関係市町で実施する既存事業において圏域住民の参加を図る。また、スポーツ推進委員等関係者の交流や関係市町で発行した文化関係図書等の交換を行う。					
効果	文化事業やスポーツ大会等に圏域住民の参加を促進して相互交流を深めるとともに、施設の利用促進を図る。他市町の住民やチームが参加することによるレベルアップも期待できる。また、行政間でも人的・物的交流による相互理解を深める。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	200	200	400
平成25年度事業の内容						
5月21日（火） 2市1町スポーツ推進委員情報交換会 備前市教育委員会三石支所にて、平成25年度スポーツ推進委員の活動状況、今年度のスポーツ推進委員の交流大会や研修会、トップスリート招聘事業について、情報交換を行った。 6月7日（金） 2市1町スポーツ推進委員情報交換会 備前市吉永B&G海洋センターにて、今年度のスポーツ推進委員交流事業の開催日時、会場、内容等について協議を行った。 11月10日（日） 第3回赤穂シティマラソン大会において、2市1町のスポーツ推進委員が競技役員として参加予定。 1月25日（土） 赤穂市民総合体育館にて、2市1町スポーツ推進委員の実技研修及びスポーツ交流会を実施予定。						

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町の文化・スポーツ施設のうち、圏域住民が利用する施設と位置づけられた施設について、市町民と市町外住民に使用料金格差を設けているなどの制約がある場合、原則として圏域住民に限り市町民と同等の条件で利用できるよう改める。					
効果	圏域住民が文化・スポーツ施設を平等に利用することにより、圏域内の文化・スポーツの振興、施設の利用促進及び住民の相互交流を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成25年度事業の内容						
東備西播定住自立圏域内（赤穂市、備前市、上郡町）の文化・スポーツ施設について、これまで他市町の住民に対して利用制限や割増料金などを設けていたが、文化・スポーツの振興、住民の相互交流を深めるため、3市町の住民が同じ条件で利用できるように関係条例等を一部改正した。 ＜広域利用対象施設＞ 【赤穂市】 1) 文化関連施設 文化会館・市民会館・美術工芸館・歴史博物館・海洋科学館・民俗資料館・図書館 2) スポーツ関連施設 城南緑地運動施設・市民総合体育館・野外活動センター 【上郡町】 1) 文化関連施設 生涯学習支援センター・郷土資料館・生きがい創造センター 2) スポーツ関連施設 スポーツセンターB&G 【備前市】 1) 文化関連施設 市民センター・吉永地域公民館・加子浦歴史文化会館・八塔寺ふるさと村民民俗資料館・図書館（本館）・図書館（日生分館）・図書館（吉永分館）・吉永美術館・歴史民俗資料館・日生市民会館 2) スポーツ関連施設 総合運動公園・三石運動公園施設・日生運動公園施設・吉永B&G海洋センター・頭島グラウンドゴルフ場・伊部運動公園・浜山運動公園・日生武道場・吉永テニスコート ＜広域利用開始時期＞ 平成23年4月1日						

事業名	トップアスリート等招聘事業				関係市町	
					赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	国内外で活躍するトップアスリートやトップチームを招聘し、一部観客参加イベントを実施するなどの魅力あるスポーツイベントを3市町の体育施設で開催する。					
効果	高いレベルのパフォーマンスにより、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツの裾野を広げ、競技レベルの向上に繋げる。 また、事業実施にあたっては、関連する競技団体やスポーツ団体と連携し、住民相互の交流を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	2,940	3,000	5,940
平成25年度事業の内容						
・ 5月30日（木） 2市1町事業担当者会を実施。 平成25年度の事業内容及び役割分担等について協議。 1. 野球イベント 1) 期 日 8月11日（日）10：00～13：00 2) 会 場 上郡町スポーツセンター野球場 3) 内 容 2市1町の小学生を対象に、プロ野球で活躍した大野豊氏・広澤克実氏・亀山つとむ氏による野球教室を実施。 4) 参加人数 160 人 2. 卓球イベント 1) 期 日 10月26日（日）10：00～13：00 2) 会 場 赤穂市民総合体育館 3) 内 容 2市1町の小中高生を対象に、全日本卓球代表選手でロンドン五輪出場の平野早矢香氏と元全日本卓球代表選手の松下浩二氏による卓球教室を実施予定。 3. ソフトボールイベント 1) 期 日 12月8日（日）10：00～13：00 2) 会 場 備前市吉永B＆G海洋センター 3) 内 容 2市1町の小中学生を対象に、元日本女子ソフトボール代表監督の宇津木妙子氏と元日本女子ソフトボール代表選手の乾絵美氏によるソフトボール教室を実施予定。						

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	3市町の教育委員会が、音楽を通じた地域活性化に取り組む市民団体「3Mプロジェクト」と連携して実施する3市町の中学校吹奏楽部交流事業に対して、助成を行う。					
効果	圏域の中学校吹奏楽部の交流の場を確保し、住民交流を促進するとともに、世界的演奏家の指導等により、音楽技術の向上が図れる。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	800	800	1,600
平成25年度事業の内容						
1) 期 日 10月26日(日) 15:00～17:00 2) 会 場 上郡町生涯学習支援センター 3) 内 容 2市1町の中学校吹奏楽部がプロのミュージシャンとコラボレーションする交流音楽会を実施予定。						

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	生涯学習の推進のための各種事業を実施する赤穂市文化会館は、圏域において重要な文化振興拠点施設であるため、経年劣化により改修の必要性がある施設設備等の改修を行う。					
効果	圏域住民の利用に必要な施設整備を行い、圏域形成を推進する文化事業の振興を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	57,000	87,763	131,000	—	275,763
平成25年度事業の内容						
(1) 大ホール及び小ホール照明設備改修一式 経年劣化による改修工事を実施。 ①工 期 平成25年9月18日～平成26年2月28日						

事業名	備前市生涯学習施設整備事業				関係市町		
					赤穂市・備前市・上郡町		
事業内容	備前市市民センター及び日生市民会館は、「図書館相互利用推進事業」の拠点施設となる図書館を含む複合施設であり、図書館相互利用をはじめ 圏域住民による文化振興、住民交流等を促進する場として重要な役割を果たしているため、経年劣化により改修の必要性がある施設設備等の整備を行う。						
効果	圏域住民の利用に必要な施設の整備を行い、図書館相互利用推進事業の推進を図るとともに、圏域内の生涯学習機会の充実、文化振興及び住民交流の促進を図る。						
事業費 (千円)	施設名	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	計
	備前市市民センター	—	—	—	0	22,740	22,740
	日生市民会館	—	—	—	18,258	0	18,258
	合 計	—	—	—	18,258	22,740	40,998
平成 25 年 度 事 業 の 内 容							
1. 日生市民会館							
1) 外壁改修工事							
経年劣化による改修工事を実施。							
①工 期 平成 26 年 1 月発注予定							
②予算額 18,258,000 円							

(イ) 学校給食の広域連携

○取組の内容

圏域における学校給食の充実を図るため、学校給食施設の広域連携を図る。

備前市の役割	赤穂市の役割
技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。	技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。	学校給食施設を建設するにあたり、備前市及び赤穂市と連携して、施設運営の技術的交流に取り組むことにより、圏域における学校給食の充実を図る。

事業名	関係市町					
	上郡町・備前市・赤穂市					
事業内容	上郡町が建設する学校給食施設の運営に向け、食品や献立データなどを管理する給食管理システム構築等の技術支援を図るとともに、将来を見据え、圏域市町間相互の食材を使用する「圏域市町デー（仮称）」を設けるなど、広域連携について検討する。					
効果	学校給食を活用した食育の推進を通じて、圏域内で生産された食材について理解を深めるとともに、圏域内の地産地消の推進を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	129,112	349,961	—	479,073
平成25年度事業の内容						
平成25年4月～	上郡町給食管理システム整備に関する技術支援					
平成25年8月	上郡町学校給食センター竣工					
平成25年9月～	上郡町学校給食センター供用開始					

【ウ. 産業振興】

（ア）地産地消の推進及び地域ブランドの発掘

○取組の内容

地産地消の推進及び地域ブランドの発掘を図るため、圏域内の事業体に対して既存商品の再発掘、改良及び新商品の開発等について必要な支援を行うとともに、各種イベントの実施や既存施設の空きスペース等の活用により情報を発信する。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。	備前市及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等について総合的な調整を行うとともに、必要な支援及び情報発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。	備前市及び赤穂市、並びに関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	農商工連携セミナー、学習会、料理教室等各種イベントを農業者、商工業者が共同で実施するなど、地域ブランド発掘のための事業を行うとともに、各地でのイベントに出店、参加する。					
効果	地産地消を推進し、地域独自の売りとなる地域ブランドの商品や特産品などを創造することにより、圏域経済を活性化し、生産者等の意欲向上を図るとともに、圏域市町の名を全国に発信し、知名度アップを図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	1,844	2,100	2,180	1,537	2,000	9,661
平成25年度事業の内容						
【実施内容】 1. 上郡町観光案内所が実施する新特産品PRパンフレット作成事業に対し、支援を決定 事業概要：上郡町特産のモロヘイヤ・カワラケツメイ等を利用した新たな加工品の販路拡大のため、PRパンフレットを作成（作成部数 5,000部） 連携事業者：上郡町観光案内所、天と海と菓子とSANPOU（赤穂市）、上郡町薬草研究会 支援決定額：200,000円（支援金上限額） 【今後の事業予定】 ・各市町におけるイベント等への出店支援 ・農商工連携等のセミナー開催 ・地域ブランド発掘事業支援の推進						

(イ) 観光振興の推進

○取組の内容

観光振興による地域産業の活性化を図るため、地域の観光資源の発掘やその魅力を活かした観光ルートの設定、旅行代理店等へのPR及びガイドブックの作成を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 備前焼、旧閑谷学校等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 赤穂市と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 赤穂市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。	(a) 忠臣蔵、塩等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 旅行代理店等と連携、調整を図り、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 備前市連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 備前焼、旧閑谷学校等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 上郡町と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 上郡町と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。	(a) 古代山陽道や赤松氏等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 備前市及び赤穂市と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 備前市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	単独の市町では設定できない魅力的な観光ルートを、関係市町が連携して設定し、広域的な観光ガイドブックを作成する。さらに、観光キャンペーン等での情報発信や誘客活動を共同で行う。 なお、事業の実施にあたっては、外部アドバイザーの招へい等を行い、事業の円滑な推進を図る。					
効果	知名度の高い観光資源を有効に組み合わせて活用するとともに、海、山、川など豊かな自然環境や景観を活かした新たな観光資源の開発の検討も行い、圏域全体での観光振興の推進を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	8,207	7,600	1,100	1,830	500	19,237

平成25年度事業の内容

1. 合同観光ポスターの作成

- ・作成種類等 赤穂市、上郡町、備前市 各1種類 三連張可
- ・作成部数 B1サイズ 1,500枚 B2サイズ 1,500枚
- ・事業費 997,500円

(ウ) 鳥獣害防止総合対策

○取組の内容

圏域内の農業被害の軽減及び山村の機能を保全するため、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号）に基づき、各市町が策定した被害防止計画に定めた鳥獣被害防止対策を総合的に進める。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 関係住民等との連携を図り、赤穂市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 赤穂市と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。	(a) 関係住民等との連携を図り、備前市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 備前市と共同して鳥獣被害防止計画を策定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 関係住民等との連携を図り、上郡町と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 上郡町と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。	(a) 関係住民等との連携を図り、備前市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 備前市と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町で鳥獣被害防止計画のすり合わせを行うとともに、ヌートリア用捕獲檻を一括購入したり、狩猟期間以外において市町界、県境での有害鳥獣の共同捕獲活動を実験的に行う。					
効果	圏域の関係団体が一体となった取組みを進めることにより、農作物等への被害を抑制し、イノシシやシカなどの生息状況や生息環境の情報を共有しながら効果的な対策を講じることができる。特に、関係市町の境界付近においては有効である。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	642	2,800	710	625	700	5,477

平成25年度事業の内容

【実施内容】

1. ヌートリア捕獲用わな購入 10基
支出済額：64,050円

2. 有害鳥獣捕獲活動用資材購入
猟友会の有害鳥獣捕獲活動用資材の現物支給（ダニ用殺虫剤、猟犬用薬剤等）
支出済額：90,580円

【今後の事業予定】

引き続き各市町の猟友会に対する現物支給など、有害鳥獣駆除活動への側面的支援を行う

(エ) 企業誘致の推進

○取組の内容

圏域経済の活性化を図るため、連携して企業誘致に必要な情報の発信を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。	大阪市等の主要な都市部における企業誘致説明会の開催等により、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。	企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。

事業名	企業誘致促進事業				関係市町	
					赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	大阪など都市部で開催される大規模な企業誘致説明会や展示会等に、関係市町が合同で出展、参加し、情報発信を行うなど企業誘致促進のための事業を行う。					
効果	住民の雇用機会の拡大及び産業振興の促進を図ることにより、圏域経済の活性化と定住人口の確保を図り、圏域全体の活性化を推進する。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	1,961	2,000	2,000	2,050	2,050	10,061
平成25年度事業の内容						
【今後の予定等】						
◆「第16回関西機械要素技術展」への出展						
日時 10月2日(水)～ 4日(金)						
場所 インテックス大阪						

むすびつきやネットワークの強化

【ア. 地域公共交通】

(ア) 地域公共交通ネットワークの構築

○取組の内容

圏域内住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通の課題について継続的に調査、検証するとともに、バス路線の充実・構築及びＪＲ山陽本線、赤穂線の利便性向上に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 赤穂市と協力、連携して両市間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、西日本旅客鉄道㈱等関係機関への働きかけについて総合的な調整を行う。	(a) 圏域内住民の移動手段を確保するため、両市間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、備前市と協力、連携して西日本旅客鉄道㈱等関係機関への働きかけを行う。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 上郡町と協力、連携して両市町間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、西日本旅客鉄道㈱等関係機関への働きかけについて総合的な調整を行う。	(a) 備前市及び赤穂市と協力、連携して両市町間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、備前市と協力、連携して西日本旅客鉄道㈱等関係機関への働きかけを行う。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	圏域内において関係市町間を結ぶ公共交通ネットワークを構築するため、圏域運行バスの導入に向けて、住民ニーズ、バスの利用実態及び費用対効果等を分析・調査する。					
効果	公共交通手段の確保により、圏域住民の生活エリアの拡大、高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに地域の活性化を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	1,000	10,432	20,440	25,250	30,000	87,122
平成25年度事業の内容						
圏域バスを実証運行中（2年以内） 【運行基準】（上郡ルート 平成24年2月27日～、備前ルート 平成24年3月5日～） 市町域を越える利用者は1便当たり1人超、かつ、1日当りのバス総利用者は16人以上。 【運行実績】次ページのとおり 平成25年7月26日 第3回圏域バス検討会議を開催し、運行実績を検証の結果、本格運行を承認						

(参考)【平成25年度上半期】事業報告書

区分/	総括					上郡ルート					備前ルート				
月	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数
24.2	3	83	27.7	6.9	4.8	3	83	27.7	6.9	4.8					
24.3	27	817	30.3	4.0	2.7	27	508	18.8	4.7	2.6	24	309	12.9	3.2	2.7
24.4	25	768	30.7	3.8	2.4	25	508	20.3	5.1	2.8	25	260	10.4	2.6	2.1
24.5	27	806	29.9	3.7	2.2	27	488	18.1	4.5	2.2	27	318	11.8	2.9	2.1
24.6	26	749	28.8	3.6	2.4	26	483	18.6	4.6	2.5	26	266	10.2	2.6	2.4
24.7	26	778	29.9	3.7	2.6	26	534	20.5	5.1	3.0	26	244	9.4	2.3	2.2
24.8	27	810	30.0	3.8	2.6	27	481	17.8	4.5	2.1	27	329	12.2	3.0	3.0
24.9	25	805	32.2	4.0	2.5	25	519	20.8	5.2	2.3	25	286	11.4	2.9	2.8
24.10	27	893	33.1	4.1	2.3	27	559	20.7	5.2	2.6	27	334	12.4	3.1	2.0
24.11	26	861	33.1	4.1	2.3	26	508	19.5	4.9	2.3	26	353	13.6	3.4	2.3
24.12	24	793	33.0	4.1	2.2	24	423	17.6	4.4	2.0	24	370	15.4	3.9	2.5
25.1	24	798	33.3	4.2	2.8	24	421	17.5	4.4	1.8	24	377	15.7	3.9	3.7
25.2	24	842	35.1	4.4	2.3	24	435	18.1	4.5	1.8	24	407	17.0	4.2	2.8
25.3	26	856	32.9	4.1	2.3	26	503	19.3	4.8	2.2	26	353	13.6	3.4	2.4
25.4	26	847	32.6	4.1	2.1	26	514	19.8	4.9	2.1	26	333	12.8	3.2	2.1
25.5	27	836	31.0	3.9	2.4	27	467	17.3	4.3	2.2	27	369	13.7	3.4	2.6
25.6	25	844	33.8	4.2	2.1	25	539	21.6	5.4	2.1	25	305	12.8	3.1	2.1
25.7	27	927	34.3	4.3	2.4	27	602	22.3	5.6	2.7	27	325	12.0	3.0	2.2
25.8	27	843	31.2	3.9	2.4	27	457	16.9	4.2	2.1	27	386	14.3	3.6	2.7
25.9	25	759	30.4	3.8	2.2	25	442	17.7	4.4	2.1	25	317	12.8	3.2	2.3
累計	494	15,715	31.8	4.0	2.3	494	9,474	19.2	4.8	2.3	488	6,241	12.8	3.2	2.3

事業名	J R利便性向上事業					関係市町	
						備前市・赤穂市・上郡町	
事業内容	J R山陽本線、赤穂線を利用する住民や圏域を訪れる人たちの移動手段と利便性の向上を図るため、関係市町により J R西日本等関係機関への働きかけを行う。						
効果	公共交通手段の確保により、圏域住民の生活エリアの拡大、高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに地域の活性化を図る。						
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	150	130	130	130	130	670	
平成25年度事業の内容							
◆ J Rへの要望会（兵庫・岡山両県境隣接市町村振興協議会、兵庫県、岡山県） ・ J R西日本岡山支社要望会 平成26年3月予定 ・ J R西日本神戸支社要望会 〃							

【イ. ICTインフラ整備】

(ア) 地域情報ネットワークシステムの構築

○取組の内容

圏域内の地域情報を、行政、各種団体、個人が、インターネットを介し、容易に発信や入手できる地域コミュニティサイトの構築に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に赤穂市と協力して取り組む。	地域コミュニティサイトを検討する会議を主催し、地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に上郡町と協力して取り組む。	地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に備前市及び赤穂市と協力して取り組む。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	圏域内の地域情報の交流と活性化を図り、魅力ある圏域を形成するため、ICT技術を活用した地域SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を構築し、運営する。					
効果	公式ホームページによる行政情報は行政からの一方通行であるが、地域SNSは、行政と住民、住民と住民など、双方向から発信することができるため、関係市町間及び行政と住民間の情報共有並びに地域社会及び地方行政への住民参画を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	1,200	1,860	5,322	1,000	9,382
平成25年度事業の内容						
SNSを引き続き運用中 圏域ホームページも兼ねた地域ポータルサイトの構築により、地域コミュニティの活性化を図る。 3月31日 地域ポータルへの移行により、協議会事務局用SNSサービス停止 9月2日 各市町の公式ホームページとデータ連携開始						

【ウ. 地域内外の住民との交流・移住促進】

住民交流

○取組の内容

圏域内の住民交流を活性化させるため、赤穂国際音楽祭等住民交流に資するイベント等を実施又は支援し、にぎわいの創出、相互の理解を深める。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。	赤穂国際音楽祭等の開催に向けて必要な調整を行うとともに、備前市と連携して住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。	備前市及び赤穂市と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	民間事業者等が行うイベントで、圏域内の複数の市町において実施するとともに、圏域内外の住民交流の促進と賑わいの創出、相互の理解を深めるために実施するものに対し、助成を行う。					
効果	住民の交流を促進するとともに、住民自身の直接参画によるイベント等の開催を支援することにより、住民と行政の協働による圏域づくりを目指した取り組みを進める。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	1,114	2,100	2,050	3,060	3,060	11,384
平成25年度事業の内容						
・平成25年度応募団体 13団体 ・4月21日開催の公開審査会（赤穂市役所）において、次の13事業について支援を決定した。						

	活動事業名	事業概要
	団体名	
1	東備西播定住自立圏城市町 第4回親善ゲートボール大会	ゲートボール愛好者及び高齢者の健康増進と圏域住民の交流・親睦を図ることを目的に、6月に赤穂市城南緑地公園などでゲートボール大会を開催します。
	東備西播定住自立圏城市町ゲートボール協議会	
2	備前焼親子陶芸教室 ～親子で灯りをともそう～	3市町において親子陶芸教室を実施し、地域資源である備前焼の良さを体感してもらうとともに、製作した灯籠の展示などを行う「灯. 街道(あかりかいどう)」というイベントを9月に備前市で実施し、交流を促進していきます。【新規】
	いんべ100万人プロジェクト委員会	
3	忠臣蔵交流囲碁大会及びこども囲碁教室の開催	3市町の囲碁クラブ有志が連携し、近隣市町に呼びかけ、世代間交流の場として12月に忠臣蔵交流囲碁大会を開催するとともに、囲碁を次世代に伝承するため、こども囲碁教室を開催します。
	忠臣蔵交流楽碁会	
4	第4回赤穂市・備前市・上郡町 定住自立圏推進交流中学軟式野球大会	3市町のスポーツ交流を目的に、上郡町1中学校、赤穂市5中学校、備前市5中学校の11チームにより、10月頃に上郡町スポーツセンター野球場及び赤穂城南緑地公園野球場において軟式野球大会を開催します。
	赤穂軟式野球協会	
5	第2回赤穂市・備前市・上郡町 定住自立圏推進交流ターゲットバードゴルフ大会	5月に千種川河川敷において開催するターゲットバードゴルフ大会を通じ、3市町の交流を図るとともに、生涯スポーツとして健康づくりにも寄与します。
	赤穂市ターゲットバードゴルフ協会	
6	AKB杯ソフトバレーボール大会 (第2回東備西播ソフトバレーボール大会)	3市町の交流を目的としたソフトバレーボール大会を12月に赤穂市民総合体育館で開催するとともに、体力づくりや健康維持、コミュニケーションづくりに寄与します。
	赤穂市バレーボール協会	
7	テニス大会	3市町のスポーツ振興と交流を図ることを目的に、10月に備前市運動公園テニスセンターでダブルステニス大会を実施します。
	赤穂市テニス協会	
8	まちぷら東備西播 (まちの達人おすすめのまちあるきコース)	3市町の観光協会の企画・運営により、7～8の「まちあるき」コースを設定し、各市町の魅力を発信します。
	日生町観光協会	
9	障害者スポーツ交流事業 AKBパラリンカップ	3市町および周辺地域の障がい者、家族及びボランティアの方の運営により、多種多様な分野の人が手軽に参加できるスポーツ交流事業を実施します。
	AKBパラリンカップ委員会	
10	マティアス・ヴァイレマン リコーダープレミアムコンサート閑谷	音楽を通じた交流を図るため、世界トップレベルの演奏家を招聘し、3月に閑谷学校において、演奏会及び講習会を実施します。
	特定非営利活動法人オフィス・ドルチェ	
11	戦国武将よろいカブト交流事業2013	圏域内の地域資源を活かした文化交流を図るため、赤松円心ゆかりの地らしく、甲冑を作成し、11月の「白旗城まつり」などにおいて行列を披露します。
	赤松地区むらづくり推進委員会	
12	赤穂御崎活性化事業	赤穂市御崎にある「壘岩」と海岸線の間の、干潮で道ができる場所を「恋人の聖地」とし、3市町在住の方に限定した公募ウェディングを実施します。
	赤穂温泉旅館組合	
13	幼児から高齢者までサッカーを通じた健康づくり、仲間づくり及び地域づくりの推進	スポーツを通じ世代、地域をこえた交流を図るため、3市町の小学生と高校生、社会人のサッカー交流イベント及び中学生及び高校生を対象とした地域交流サッカー大会を開催します。
	エンジョイサッカー実行委員会	

事業名	赤穂国際音楽祭開催助成事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内外の住民交流を促進し、住民の賑わいを創出するために行う赤穂国際音楽祭の開催に対して助成を行う。					
効果	圏域の魅力を赤穂国際音楽祭を通して日本全国、世界に発信するとともに、住民参加により地域に根ざしたイベントとして充実・発展させる。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	1,000	800	1,000	800	3,600
平成25年度事業の内容						
ル・ポン2013（赤穂国際音楽祭・姫路国際音楽祭）として、姫路との共催により開催 ◆赤穂国際音楽祭 開 催 日：平成25年10月4日（金）～8日（火） 定住自立圏枠設置日 10月5日（土）、8日（火） 開催場所：赤穂城跡特設会場、赤穂市文化会館ハーモニーホール ◆定住自立圏チケットを200席分確保し、備前市民及び上郡町民向けに販売。（実績＝97席） ◆定住自立圏チケット購入者には、備前市役所、日生支所及び上郡町役場を発着とする送迎バスを運行した。						

事業名	こどもと学生のふれあい活動支援事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内の大学である関西福祉大学が実施する学生ボランティアによるこどものための宿題教室等、こどもと学生がふれあう活動を支援する。					
効果	圏域内のこども達の学力向上を図るとともに、世代間交流により、社会性を備えた豊かな心を育む。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	110	110	220
平成25年度事業の内容						
【実施日】 平成25年8月 9日（金）赤穂市（関西福祉大学内の教室） 参加小学生124名 20日（火） 〃 〃 104名 6日（火）上郡町（交流広場「菊森さんの家」） 〃 46名 25日（日）備前市（備前市市民センター） 〃 6名						

移住の促進

○取組の内容

圏域外からの人の流れを創出し魅力ある圏域を作るため、連携して移住情報の発信を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。	神戸市等の主要な都市部における定住相談会の開催等により、圏域の移住情報の発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。	定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町合同による定住相談会を神戸市等の主要な都市部で開催し、各市町で実施している定住支援策等の情報を発信し、移住希望者の定住先として本圏域を選択してもらえるよう定住促進事業を実施する。					
効果	住んでみたいと感じてもらえる魅力のある圏域づくりに努め、その情報を圏域外へ発信するとともに、圏域の存在をアピールして、圏域外からの移住及び交流人口の増加を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	900	1,300	1,772	2,100	2,100	8,172
平成25年度事業の内容						
◆東京会場 「ふるさと回帰フェア2013 in 東京」に参加 開 催 日：平成25年9月8日（日） 場 所：早稲田大学 内 容：3市町職員による定住相談会（相談件数 39組51人） ◆大阪会場 「ふるさと回帰フェア2013 in 大阪」に参加 開 催 日：平成25年9月21日（土） 場 所：シティプラザ大阪 内 容：3市町職員による定住相談会（相談件数 34組55人） ◆神戸会場 「東備西播定住自立圏形成推進協議会定住相談会」を開催予定 開 催 日：平成26年3月 場 所：神戸国際会館 内 容：3市町職員による定住相談会						

圏域マネジメント能力の強化

【ア. 圏域内の職員等の交流】

圏域内の職員等の交流

○取組の内容

職員の資質向上及び圏域マネジメント能力の強化を図るため、圏域外の専門家の招聘や、合同研修、職員交流を実施する。

備前市の役割	赤穂市の役割
a 備前市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 赤穂市と協議の上、圏域の活性化を図るために必要な圏域外の専門家を招聘する。	a 赤穂市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 備前市と協議の上、圏域外の専門家の招聘に協力する。
備前市の役割	上郡町の役割
a 備前市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 上郡町と協議の上、圏域の活性化を図るために必要な圏域外の専門家を招聘する。	a 上郡町が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 備前市と協議の上、圏域外の専門家の招聘に協力する。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	職員の能力向上を図るため、圏域内の共通の課題をテーマに各市町職員を対象とした集合研修等の研修を実施する。					
効果	職員の能力及び資質の向上を図るとともに、圏域全体にわたる事業運営の円滑化と職員間の一体感を醸成させる。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	130	360	360	360	360	1,570
平成25年度事業の内容						
【進捗状況、今後の予定等】 9月末時点においては実施していない。 今後、圏域内の共通課題をテーマとした他の定住自立圏域等への視察を行い、その報告会を各市町職員の集合研修として実施する予定。						

事業名	職員研修参加交流事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	各市町において実施している職員研修に、他の関係市町の職員を受け入れる。					
効果	参加可能な研修メニューの幅が広がるとともに、職員間の交流を深める。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成25年度事業の内容						
【進捗状況、今後の予定等】 1. 進捗状況 赤穂市 ◇7月25日(木) 赤穂市役所において人権啓発研修を開催 参加人数：備前市1名、上郡町1名 ◇ 8月7日(水) 赤穂市役所において交通安全研修を開催 参加人数：備前市3名 2. 今後の予定等 10月16日(水)、17日(木)に、赤穂市役所において接遇研修を予定している。						

事業名	人事労務担当職員研究会(交流)事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	関係市町の人事担当部署が人事労務にかかる情報交換を図る研修・交流会を持ち回りで開催する。					
効果	人事労務に係る情報交換を行うことにより、関係市町の課題に的確・迅速に対応する。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成25年度事業の内容						
【進捗状況、今後の予定等】 11月29日(火)、赤穂市役所において2市1町人事労務担当職員研究会の開催を予定しており、各市町の課題となっている事項等について情報交換を行うこととしている。						

事業名	関係市町					
事業内容	高度で専門的な知識・技術等を有し、広域的な行政運営の見識が深く、専門的な立場から指導・助言できる専門家を招へいする。					
効果	魅力ある圏域づくりに向け、多様化する住民ニーズを的確に捉え、政策立案ができる職員等を育成する。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成25年度事業の内容						
【進捗状況、今後の予定等】 総務省の人材育成等専門家派遣事業を活用し、以下のとおり2市1町管理職研修等を実施した。 1. 講演会 (1) 人材育成型人事評価制度の確立とその運用方法について 講師：早稲田大学政治経済学術院教授 稲継 裕昭 氏 (2) 地方公務員の人材育成と人事評価について 講師：総務省自治行政局公務員部給与能率推進室課長補佐 和泉 秀樹 氏 2. 意見交換会 人事評価制度における課題等について、上記講師をアドバイザーに迎え、2市1町人事担当者による意見交換会を実施した。 3. 日 時 平成25年8月26日(月) 午後1時～午後4時 4. 会 場 赤穂市文化会館 ハーモニーホール 学習室 外 5. 参加者数 約100名						

事業名	関係市町					
事業内容	関係市町において協議のうえ、必要に応じ職員の派遣交流を行う。					
効果	圏域全般における職員の相互理解と、職員としての資質・能力の向上を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成25年度事業の内容						
【進捗状況、今後の予定等】 イベント等における職員の相互派遣交流の実施について、11月29日(火)に開催予定の2市1町人事労務担当職員研究会において検討する。						